

自己紹介

林 みちこ

筑波大学芸術系

松江東高校6期卒業生

筑波大学芸術専門学群卒業・大学院進学

2000年8月～2011年1月 箱根 ポーラ美術館 学芸員

2011年4月～2017年3月 島根大学教育学部嘱託講師

このUターン期間には松江市との協働が多数。

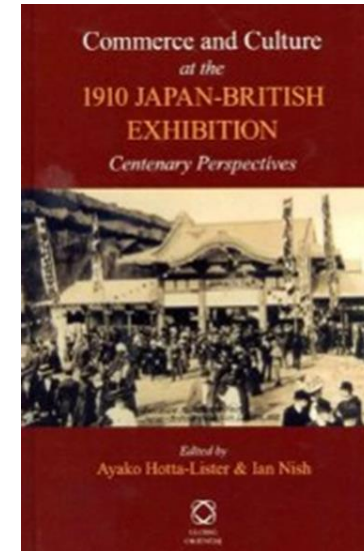
小泉八雲記念館リニューアル展示について助言するなど。

2014年4月～2017年3月 筑波大学大学院博士後期課程に復学

2017年4月～筑波大学芸術系に奉職

主な研究内容

- 近代日本美術史、日英美術交流史
- 博覧会史
- ジェンダーと美術
- 美術館学
- 大学美術コレクション
 - ※卒業修了優秀作品の買い上げ
- デジタルアーカイヴ
- 鑑賞教育



研究課題（科研費）

研究代表者

イギリスにおける近代日本画の受容と批評の実証的研究—NIHON-GAの定義へ	2021-04 -- 2025-03	林みちこ	独立行政法人日本学術振興会/科学研究費補助金/基盤研究(B)
サードフォースの美術史 1880-1920—在英日本人ネットワークの研究	2019-10 -- 2023-03	五十殿利治	独立行政法人日本学術振興会/科学研究費補助金/国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))
「儒教美術史」構築のための発展的研究—東アジア文化圏の構造解釈と研究資源化	2019-04 -- 2024-03	水野裕史	独立行政法人日本学術振興会/科学研究費補助金/基盤研究(B)
近代日本における「古代」の歴史化と美術に関する研究—国家表象と国宝を中心に	2018-04 -- 2019-03	林みちこ	独立行政法人日本学術振興会/科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究における独立基盤形成支援

Local Art History 「地域美術史」への取り組み



古稀翁著者



巖年の相見香雨翁

石橋和訓 (1876-1928)
佐田町出身の画家。イギリスに留学し肖像画家となった。

桑原羊次郎 (1868-1955)
松江市出身の美術史家・コレクター

相見香雨 (1874-1970)
松江市出身の美術史家



**島根県立美術館と共同研究
を進行中**



九月二十七日
十二月十二日
島根県立美術館
展示期間



記録された日本美術史
相見香雨・田中一松・土居次義の調査ノート展

【東京展】
2016年9月12日(土) - 9月16日(土)
東京女子大学常設展示資料館

【京都展】
2016年9月23日(土) - 9月25日(日)
京都女子大学常設展示資料館

今後の連携の可能性

・ 美術・デザイン分野のワークショップ

公立では金沢美術工芸大、愛知県立芸大、沖縄県立芸大などがあるものの島根県には芸術大学がないためアート系を志望する高校生は島根大学の美術科教育専攻に進学するか、県外流出している現状。

・ 美術品のストレージ、アーカイヴの技術開発

筑波大学の卒業・修了作品の買上と管理を担当している関係で、美術品の保存管理、収蔵に関するIT技術の活用を模索している。民間企業としては寺田倉庫が美術作品のストレージについて新たな試みを提案している。

アートによる地域振興の研究



アートによる都市再生に成功したフランスの地方都市ナント
松江市から派遣されまちづくりの事例研究（2012年）

ドイツのヴィトラ・デザイン・ミュージアムとの交流

島根県内の古民家をヴィトラ所有地に移築

ヴィトラが運営している国際的なデザイン・ワークショップの調査
フランス、ポワティエ近郊のボワビュシュエ（2009年）

